学校番号	T0301

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅰ　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これからの情報社会を生き抜いていくために必要な知識を身につけよう。
・実習では授業のはじめに復習・説明をすることが多々あり、遅刻をすると授業内容を理解することが難しくなります
・技能では、まとめるためにワープロソフトや表計算ソフトを使用することがあります
・日々の課題、小テスト、実技などで、学習の到達度をみます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの方法やデータの活用について身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に活用する力を修得する。
【学びに向かう力、人間性等】
情報社会について考え、自ら問題の発見・解決に向けて情報を活用し解決していこうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　情報社会の問題解決	・情報の特性 ・メディアの特性 ・問題解決の考え方 ・法の重要性と意義-著作権 ・法の重要性と意義-個人情報	a:情報とメディアの特性を理解し、それぞれを活用し問題を発見し、解決する技能を身につけている。また、著作権や個人情報について理解し、適切に扱うことができる。 b:情報の特性について考えることができ、目的や状況に合わせてメディアを選択し、問題の発見や解決について考えることができる。個人を特定できる情報とは何か説明できる。 c:情報やメディアの特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切に活用しようとしている。問題の発見や解決にも活用しようとしている。個人情報の取り扱いや情報モラルに配慮し、情報社会に主体的に参画しようとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察
	第2章　コミュニケーションと情報デザイン	【メディアとコミュニケーション】 ・コミュニケーションとメディアの活用 ・コミュニケーション手段の特性 ・情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア	a:コミュニケーションの手段の発達や形態について理解している。メディアによって表現方法が異なることを理解している。インターネットが普及したことで、生まれた問題を理解している。 b:情報発信時に考えられる課題や情報格差に関する問題点、情報が正しいかどうかといった課題について自らの考えで正しい選択をすることができる。 c:コミュニケーション方法を理解し、メディアをうまく活用しながら、情報化が進んだことで生じた課題を解決しようとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察

		【情報のデジタル化】 ・コンピュータとデジタルデータ ・文字のデジタル表現 ・音のデジタル化 ・画像のデジタル化 ・動画のデジタル化	a:２進法、１０進法、１６進法を理解し、文字コードや音、画像、動画のデジタル化のプロセスや仕組みを理解いている。 b:アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。データの圧縮の仕組みを理解し、説明することができる。 c:アナログとデジタルの身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。圧縮と展開の活動に取り組み理解しようとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察
後期	第３章　コンピュータとプログラミング	【コンピュータのしくみ】 ・コンピュータの基本的な構成 ・ソフトウェアとOS ・CPUとメモリ	a:コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れ、ソフトウェアの種類、ＯＳの役割、ＣＰＵ、メモリの役割について理解している。 b:コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを説明することができる。ＯＳの役割 c:スマートフォンの内部を調べることやインターフェースの確認、ＯＳの種類を探す活動、コンピュータのスペックを調べる活動に積極的に取り組もうとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察

		【アルゴリズムとプログラム】 ・アルゴリズム ・アルゴリズムの基本と表現方法 ・プログラム構成要素	a:アルゴリズムの意味、基本構造、表現するための図や表について理解している。プログラムの構成要素である変数、データ型、演算の意味や種類を理解している。 b:基本構造を組み合わせて、アルゴリズムを構造化することができる。アルゴリズムを図や表で表現し、可視化できる。プログラムの構成要素について考え、正しい結果を出力することができる。 c:処理対象を自分で考え、アルゴリズムを構造化、可視化しようとしている。学んだ知識をもとに具体的な事例を自分で探し、問題を解決しようとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察
		【モデル化とシミュレーション】 ・モデル化とは ・モデル化とシミュレーション ・コンピュータを利用したシミュレーション	a:モデル化とシミュレーションの手順について理解し、モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につけている。 b:問題解決の場面に応じて、適切なモデルを選択し、表現することができる。その過程を評価し改善することができる。 c:身近な問題を解決するためのモデル化に積極的に取り組み、問題解決の結果を振り返り改善しようとしている。シミュレーションの結果をもとに、試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとしている。	ワークシート プリント 定期考査 小テスト 確認テスト	ワークシート プリント 定期考査 小テスト	ワークシート プリント 小テスト 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度